

12月議会

12月議会は12月6日から20日までの15日間行われ、議案46件（条例関係13件、人事関係3件、予算関係14件、決算関係16件）を審議し、45件を原案通り可決し、1件を否決しました。

【目次】

- 12月定例会議案とその結果 2～3頁
- 決算審査特別委員会報告 4頁
- 議長 副議長あいさつ 5頁
- 常任委員会審査報告 6～9頁
- 意見が分かれた議案、議会改革検討特別委員会報告 10頁
- 11月臨時会議案とその結果 11頁
- 一般質問 11～17頁
- 傍聴記、編集後記、次回定例会の日程 18頁

平成29年度 南相馬市一般会計補正予算の概要

一般会計予算規模 平成29年度
630億 1,500万円
 (7億 2,310万円減)

7億 2,310万円を減額し、補正後の一般会計歳入歳出総額が、630億 1,500万4千円となった。

主な事業 ◎は新規事業

復興賃貸事業所整備事業

ロボット産業等の研究・開発等に係る事業者の活動拠点となる貸事務所・工場の整備に向けて、基本設計及び地質調査を実施。

◎ **1,203万円**

営農再開支援水利施設等保全事業(ため池等保全)

営農再開に向けて、農業用水利施設の機能維持、回復等を図るため、ため池堆積土等の調査設計を実施。

◎ **1,590万円**

高齢者にやさしい住まいづくり助成事業

高齢者が自宅において転倒等により要介護等の状態にならないよう住宅改修費用の一部を助成。(申請件数の増加に伴う増額)

348万円

ふるさと応援寄附金協働のまちづくり事業助成金

市民との協働のまちづくりを推進するため、ふるさと応援寄附金を活用してNPOや市民活動団体が市内で行うまちづくり活動を支援。

1億 1,500万円

ふるさと帰還通行カード導入事業

原発避難者に対する高速道路の無料措置の利便性向上のため、東日本高速道路株式会社が実施するふるさと帰還通行カード導入に向けて利用申込書の受付、確認事務を実施。

◎ **3,847万円**

体育施設整備事業

平成30年6月10日開催の第69回全国植樹祭の荒天時会場となる南相馬市スポーツセンターのトイレ廻りの改修を実施。

339万円

平成29年度 南相馬市一般会計補正予算について

寄附の申し出については、補助金の交付時期や趣旨等を十分確認し、市民の誤解を招かぬよう、また寄附者の意志が反映されるよう取り扱っていききたい。

答弁 国からの補助金交付を受けた会社については、政治資金規正法に基づき、補助金の交付決定から一年経過するまでの間政治活動に関する寄附が制限されているが、市ではそのような制限はない。本事例では、補助金交付を決定する部署と寄附を受けた部署は異なり、取り扱いについて直接的な利害関係はないと捉えている。

質疑 本市が独自に企業立地助成金を交付している企業から、義援金等として寄附を受け取っている事例があるが、妥当性についての見解は。

◎ 一般寄附金

・ 補正前	1億 1千 509万円
・ 補正額	3億 6千 600万円
・ 合計	4億 8千 109万円

歳入

歳出

○お試し住宅整備事業

60万円

【主な内容】

本市への移住を希望している者に対し、小高病院の職員公舎を活用し、整備する。供用開始に伴う管理運営に要する経費の増額。

【質疑】

本事業と同じ趣旨で、既に県や民間団体による公益目的の宿泊機能の提供が予定されている。こうした民間団体等による健全な自助努力を阻害することなしに需要そのものを整理しているのか。

【答弁】

特に、旧避難指示区域内では空き地・空き家の問題があり、こうした課題の解決手段のひとつとして移住がある。現在の本市の状況を知ってもらい、「関係人口」をふやしていくため、農業体験や高校生と協同で活動するといったプログラムを体験する宿泊所であり、それ以外の目的ではこの施設は使用できない。

○ふるさと帰還通行カード導入事業

3千847万円

【主な内容】

原発避難者に対する高速道路の無料措置に係る出口料金所での通行を迅速化するため、ふるさと帰還通行カード導入に係る利用申込書の受付及び対象要件の確認等の事務を行う。

・事業内容

ふるさと帰還通行カード導入事務作業等業務委託、利用申込書の送付事務、利用申込書の受付及び対象要件確認等事務。

【質疑】

県が母子父子避難者に無料措置を実施しているが、こうした方々にも通行カードは発行されるのか。

【答弁】

県の事業対象者も通行カードが適用されるのか確認できていないが、県の担当課に対して、市としてしっかりと要望していきたい。

○基盤技術産業育成支援助成金

2千26万円

【主な内容】

金属・機械関連製造業者のNC工作機械、CAD/CAMソフト等の購入及び技術者育成費用に対し、助成金を交付する。

助成金対象見込 5社
補助率 1/3
補助限度額 500万円

【質疑】

南相馬市の経済を引っ張っていく製造業について、市として、どういう方向性で発展させていくのか伺う。

【答弁】

南相馬市の製造業、産業を発展させるということについては、まず、地元で操業されている企業の方に耳を傾けることが極めて重要だと考えている。「今回も事業者との話の中で、NC工作機械を使っているのは金属加工だけではない」と、声を上げてくれた事業者もおり、こういった事業者の生の声にしっかりと耳を傾けながら、引き続き検討を進めていきたい。

○復興賃貸事業所整備事業

1千203万円

【主な内容】

ロボット関連産業事業者等の貸事務所・工場を整備し、誘致を推進する。

・事業内容

基本設計業務委託
地質調査業務委託
・事業スケジュール
平成30年度…
実施設計業務委託
平成31～32年度…建設工事

【質疑】

賃貸事務所、工場について、借り受ける事業所の見通しを伺う。

【答弁】

ロボット産業を推進する事業所と調整を図っている。

【質疑】

事業の概要を伺う。

【答弁】

施設は2階建てを予定し、工場は平屋で4室、事務所が2階建てで8室、管理事務所と併せて延べ床面積が約1千500平方メートルを考えている。

【質疑】

放射線対策総合センターの活用を伺う。

【答弁】

放射線対策総合センターについては、建物の有効活用について検討する。

○過年発生公共災害復旧事業（農地農業用施設）

委託料 △3千910万円

【質疑】

災害復旧事業から交付金事業に変更になった経過を伺う。

【答弁】

当初、災害査定を予定していたが、長期間避難指示が出ていたことにより維持管理ができなくなったことによる施設の劣化など、災害復旧事業では採択されないものもあることと、福島再生加速化交付金を利用する場合、4分の3は国から、4分の1は復興特交で財源措置を受けられることから、災害復旧事業から交付金事業に切りかえた。審査の結果、原案通り可決。